



東京女子医科大学腎臓病総合センター泌尿器科



TVT スリング手術を受けられる患者様への説明文書

【対象疾患：腹圧性尿失禁】

TVT スリング手術は本邦では 1999 年 2 月より手術器具が使用可能となり、2011 年 8 月より現在使用している Advantage Fit という手術器具が使用可能となりました。今回、TVT スリング手術を受けるに際し、まずこの文書をお読みください。

■TVT スリング手術とはどのような手術か

腹圧性尿失禁(咳やくしゃみなど腹圧がかかったときに失禁がおきること)に対し、薬や体操といった他の治療では十分な改善が得られないため、この手術を行います。手術は専用の手術器具を使用して医療用のポリプロピレンメッシュのテープを尿道の周囲から下腹部にかけて U 字型に留置する(通す)方法です。

【手術方法】

通常は局所麻酔で行います。手術室に入った後、肩に不安をとるための注射をします。載石位(婦人科診察の姿勢)で手術を行います。傷の部分が体毛と重なる場合、少し毛を剃らせていただきます。(自分では剃ってこないでください)

下腹部に 5mm 程度の傷が 2箇所、尿道口(尿の出る穴)の少し下(膣の部分)に縦に 1.5cm 程度の傷が 1箇所つきます。手術は通常約 30 分です。

【手術の流れ】

- (1)局所麻酔をした後、下腹部、尿道口の下(膣)を切開する。
- (2)左右に手術用の針(医療用)を通し、膀胱内視鏡で膀胱に穿刺していないか確認する。
- (3)テープを下腹部から出す。

- (4)膀胱内に水を入れ、咳テストをしてテープの強さを調整する。
- (5)テープのまわりのカバーをはずし、テープが動かないようにする。
- (6)傷を縫合し閉じる。尿道カテーテルを入れる。

【術後経過】

順調に経過しますとおおよそ以下ようになります。

手術後部屋に戻ったら水分摂取は可能です。当日は夕食から食事開始となります。(ベッド上でとります)

翌日朝の診察で尿道カテーテルをはずし、膣の傷を消毒します。その後は歩行可能となります。

1回目の排尿は外来で排尿テスト(尿流量測定検査)とし、残尿が一定量未満であれば退院となります。

合併症が生じた場合、経過が変更となることがあります。

【術後の注意点】

術翌日からシャワー、術翌々日からお風呂への入浴が可能です。

術後1週間まで:長い時間の立っている動作を控えて下さい。

術後4週間まで:自転車、バイクなどサドルにまたがる乗り物を控えて下さい

術後6週間まで:テープ感染予防のため旅行、温泉、プールなど不特定多数の方の入るところは控えてください。テープが周りの組織とよくくっつくように、下腹部に力が入るようなスポーツ、重いものを持つ動作、性行為を控えて下さい。

■TVT スリング手術の特徴、長所

短期成績 80-90%と手術成績がよく、外国での術後 11 年でも成功率 77%と報告されています。

局所麻酔でできること、短期の入院でできることも利点です。

■TVT スリング手術の短所、合併症

【術中、術直後に考えられるもの】 膀胱穿孔、出血、骨盤内血腫、腸管損傷、痛み

【術後に考えられるもの】 排尿困難、膣壁テープびらん、尿道のいらいら感、尿意切迫感

この他、まれなものや予期しないものについては、そのつど説明し、適切な処置をさせていただきます。

■当施設での TVT スリング手術の成績

2006 年から手術を開始し、2015 年までに 105 例行っています。このうち膀胱穿孔が 22 例、100ml 以上の出血が 3 例(輸血は不要)、筋膜血腫 1 例、尿閉 1 例、膣壁びらん 5 例、切迫感 11 例、尿失禁再発への再手術 4 例となっています。膀胱穿孔が多く見られますが、術中にきちんと対応しますので、入院が延びることは通常ありません。

不明な点がありましたら、主治医、担当医にお尋ねいただくか、泌尿器科外来までお知らせ下さい。

電話(03)3353-8111(代表)

TVTスリング手術を受けられる患者様への説明文書

東京女子医科大学泌尿器科学教室

Department of urology, Tokyo women's Medical University.

以上の点について説明を受け、よく理解し、処置に同意します。

平成 年 月 日 患者氏名

患者家族氏名

その他、特に説明した内容

a)

-

b)

-

以上の点について、患者、患者家族に十分説明しました。

説明医